

# 大きな公園の小さな縁側



芝生広場から建物を見る

## ■設計趣旨

### ・自然溢れる公園と人々をつなぐ「縁側」としてのトイレ

広大な自然を持つ根岸森林公園に設けられるトイレには、排泄行為の用便機能に加え、避暑地・休憩所としての機能、待ち合わせ場所としての機能、公園で遊んだ子供が手足や遊具を洗う上水設備機能などが求められます。これらを踏まえ、公園とトイレという2つの要素だけでは各々が機能が完結し、空間や用途が分断されるため、各自の可能性を狭めてしまうと考えました。そこで大きな庇をもつ縁側のような場所が公園と人々を柔らかくつなぎ、「公園の縁側」「トイレの縁側」として各自の空間の可能性を押し拡げようとする「大きな公園の小さな縁側」としてのトイレを提案します。

### ・小さな公共建築だからこそ感じられる場所への親しみと、利用者の意識改革

“公共建築”は、国民のお金によってみんなに向けて開かれているからこそ、キレイに維持しようとする管理され、大切に監視されています。規模と金額が大きい公共建築になればより一層その気遣いは顕著になり、利用者にとって建物への特別感が増していき、非日常的な場所として認識されます。一方、公園のトイレという小さな公共建築は、24時間開放され、誰かが常時監視されているわけでもなく、小さいからこそ場所の全体像が認識しやすくなっています。今回提案するトイレは、広大な自然を持つ根岸森林公園の中で最もプライベートな時間を過ごす空間として、安心かつ自分の居場所として親しみをもってもらえる空間を目指し、利用者がキレイに使い続けた場所として意識し続ける、小さくも大きい視野を持つ公共建築を提案します。

## ■敷地との関係

### ・敷地の起伏を活かした見守り、見守られるトイレ

公園のトイレは、用途や景観的な観点からはあまり目立たせたくないものである一方、防犯性や緊急時の視認性を考慮すると、建物として見つけやすくする必要があります。元ゴルフ場の面影を残す敷地は、計画敷地北側の園路を挟むように、敷地が左右に隆起しており、計画するトイレは園路から1m程度高低位置にあります。そのため園路を歩く人や公園で遊ぶ人からの視認性は必然的に高くなります。子供と来園した親であれば、一人でトイレに行く子供を確認しやすくなります。また、縁側テラスを北側園路に向けてすることでベンチに座りながら広い公園を一望できます。パドックを見下ろすように花見の際でも全体像を把握しやすく、「見守りかつ見守られるトイレ」として計画します。南側のどんぐりの森に対してはあえて面として建物の存在感を出すことで森の中に埋没させず、生い茂る木々の隙間からでも利用者の目に留まる、どんぐりの森の出口として建物を位置付けます。全方位から人の拠り所となる公園の新しいランドマークとしてこのトイレが機能することが期待されます。

## ■環境配慮とコスト計画

### 工. 脱炭素社会の実現を踏まえた環境配慮

「横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例」「横浜市建築物における木材の利用の推進に関する方針」を基に、省エネルギー、CO2排出削減、節水や停電時洗浄可能設備機器の採用等について検討します。特に、節水は建物全体の節電に繋がりが、CO2削減に直結します。また夏に野外で過ごす縁側は、各家庭の空調機器使用時間を抑え、「街」として節電効果を期待できます。オ. ライフサイクルコスト

### ・ローメンテナンス化

トイレは汚れやすい用途であることから、長寿命・メンテナンスフリーの素材を採用し、維持管理をしやすくすることで、ランニングコストの低減を図ります。木材はメンテナンスを行う上では簡単な材料であり、一般的な頻度で清掃が入れば長く使うことができます。コンクリートや銅板などは木材に比べればメンテナンスが少なく済みますが、根岸森林公園という広大な敷地に囲まれた場所においては、利用者のライフサイクルの外に置かれた公共建築になってしまう可能性があります。

## ■工事費概算内訳表（消費税10%で算定。あくまで概算であり工事金額を補償するものではありません。）

工事種別	単価(単位)	数量(単位)	小計
仮設工事	20,000円/㎡	45㎡	900,000円
型枠工事	5,000円/㎡	45㎡	225,000円
土工	15,000円/㎡	45㎡	675,000円
コンクリート工事	2,000,000円	一式	2,000,000円
木工	8,000,000円	一式	8,000,000円
屋根工事	4,000,000円	一式	4,000,000円
外壁工事	7,000,000円	一式	6,000,000円
建具工事	30,000円/枚	6枚	180,000円
内装工事(塗装含む)	2,500,000円	一式	2,500,000円
給排水設備工事	5,000,000円	一式	5,000,000円
電気設備工事	3,000,000円	一式	3,000,000円
雑工事	2,000,000円	一式	2,000,000円
外構工事	6,000,000円	一式	6,000,000円
合計(税抜/税込)			40,480,000円/44,528,000円

## ■計画概要(評価の着眼点に対しての回答)

### ア. 周辺環境と調和したデザイン

#### ・敷地に溶ける「透明な大屋根」

軒出3.2mの大庇が特徴の「縁側テラス」が、芝生広場の風景を柔らかく取り込みつつ利用者を迎え入れ、トイレ動線へと繋げます。どんぐりの森のスケール感へ続くように伸びている大らかな片流れ屋根は、広い敷地をもつ公園の中でもアイコニックな存在として機能し、利用者への視認性の向上、親しみやすさを演出します。屋根を鋼板仕上げとすることで周囲の景色が映り込み、森に溶けるようにして季節毎に表情を変化させます。自然と一体になりながら根岸森林公園の新しい風景を作る存在として「透明」なトイレを目指します。

### イ. 施設利用者の利便性や快適性

#### ・新しい「公園の洗面スペース」の在り方

昨今、トイレには多様な性を受容できる新しい仕組みが検討されています。本提案では「トイレの洗面」としての機能だけではなく、新しい「公園の洗面」を提案します。「公園の洗面」は手指洗浄に加え、休憩、化粧、飲水の供給、足洗い場等の機能を併せ持つものです。この2種類の洗面スペースを縁側テラスに面するように配置し、公園でもなくトイレでもない、第3の居場所を提供します。用途や性別によるエリア分けを行わない中間領域的な洗面スペースがあることで、トイレも含めた周辺の快適性が向上し、公園の利用方法の幅が拡張されていきます。

#### ・シーズンを通して円滑な利用者動線

園内の開けた場所に設置されるトイレは、全方位からアプローチ可能ですが、あえて人の流れをある程度コントロールする動線計画を提案します。トイレ北側の園路を公園利用者の主動線と想定し、そこから回避性のある動線を馬の博物館への園路も含めて縁側テラスまで引き込みます。縁側テラスが經由となることで行き止まりをなくし、全方位からのアプローチに対応するフレキシブルな動線計画とします。春の花見シーズンなどの公園利用が増える時期であっても、誘導員なしでトイレ利用者で円滑に捌けるよう、並ぶべき場所を利用者が自然と理解できる外構計画とします。

#### ・多目的トイレを中心とした軒下分棟配置とすることで、多目的トイレが視覚上の仕切りになりながら自然に動線を分けつつ、利用者の滞留場所を分散します。通路は車椅子利用者でも円滑に利用できる有効幅1.8m以上を確保します。利用者やシーズンに左右されず、常に快適なトイレとして利用できるよう動線計画とします。

#### ・公園の灯として夜間でも利用できるトイレ

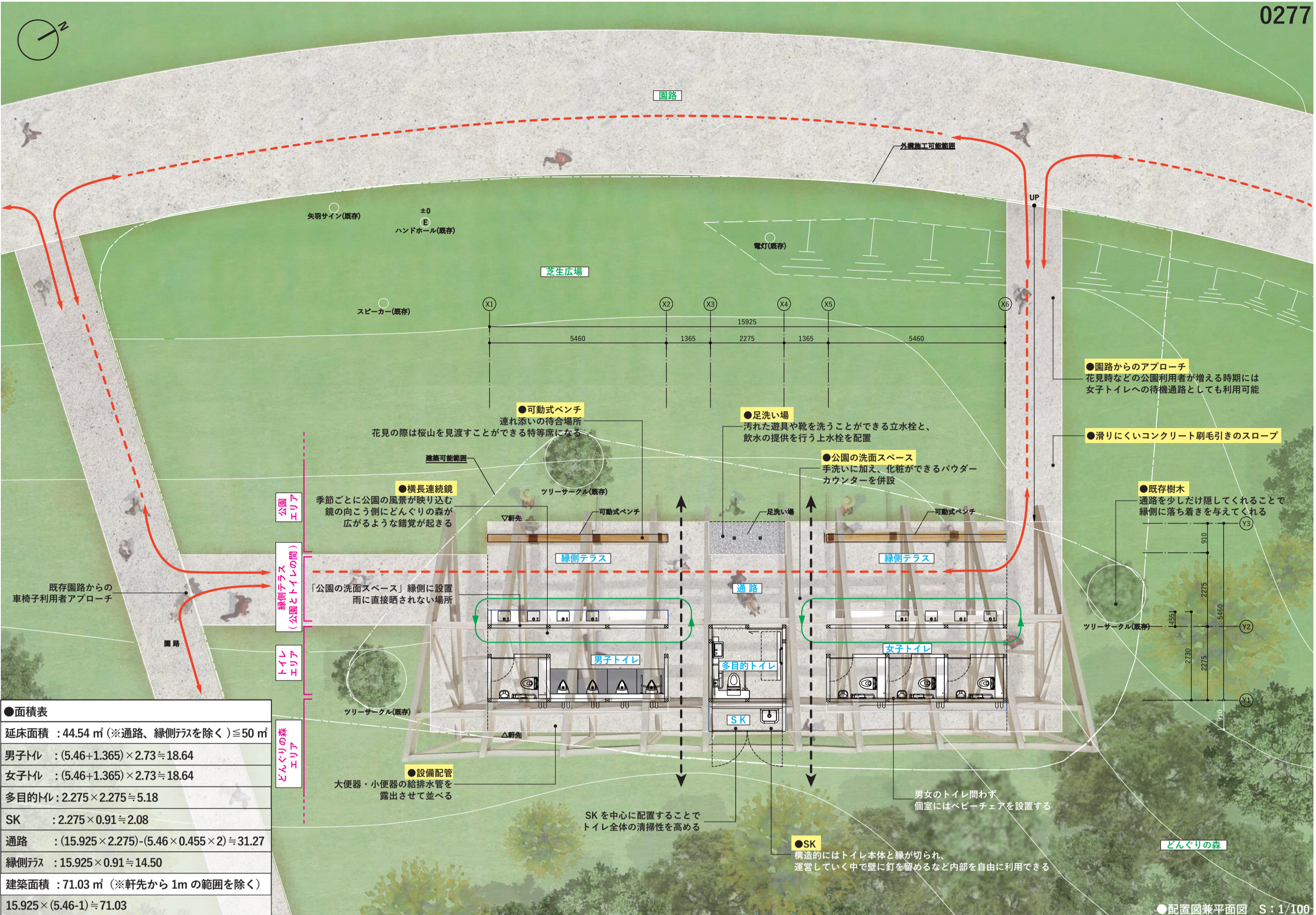
根岸森林公園は24時間利用することができる公園であり、夜間のジョギングやペットの散歩などで訪れる人が多い場所です。計画敷地は電灯はあるものの、夜間でも安心できる十分な明るさはありません。壁の上部を半透明のポリカーボネートパネル仕上げとすることでトイレ内の明かりが大庇を伝って縁側テラスへ柔らかく漏れ出し、建物全体が公園の灯となります。本トイレは24時間使用を想定しており、トイレ内と周辺敷地を共に柔らかく照らすことでの防犯、犯罪を抑止する効果が期待できます。



縁側から敷地北側面を見る



男子トイレ個室から天井を見る



### ●面積表

延床面積	: 44.54㎡ (※通路、縁側テラスを除く) ≒ 50㎡
男子トイレ	: (5.46+1.365) × 2.73 ≒ 18.64
女子トイレ	: (5.46+1.365) × 2.73 ≒ 18.64
多目的トイレ	: 2.275 × 2.275 ≒ 5.18
SK	: 2.275 × 0.91 ≒ 2.08
通路	: (15.925 × 2.275) - (5.46 × 0.455 × 2) ≒ 31.27
縁側テラス	: 15.925 × 0.91 ≒ 14.50
建築面積	: 71.03㎡ (※軒先から1mの範囲を除く)
	: 15.925 × (5.46-1) ≒ 71.03

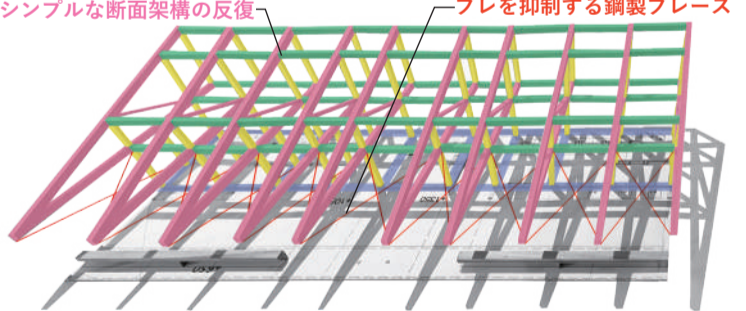
## ●構造計画

### 1: 意匠・施工性を兼ね備えた合理的な計画

シンプルな断面架構の反復による合理的な木構造を提案します。単純な架構の反復は、現場における組み立て時間短縮を図ることに加え、施工前のプレカット図作成の時間短縮、設計監理者による施工図確認の合理化に繋がります。更新、破損時に大掛かりな作業を必要としない、維持管理がしやすい配管計画です。

### 2: 大きな軒下空間に適した架構構成

小さな個室が多いことから、個室の壁を耐力壁とすることで必要な壁量を確保し、縁側へ極力柱を立てない構造形式を提案します。縁側庇先端側の架構のプレを抑える目的で、鋼製プレースを適宜設置します。



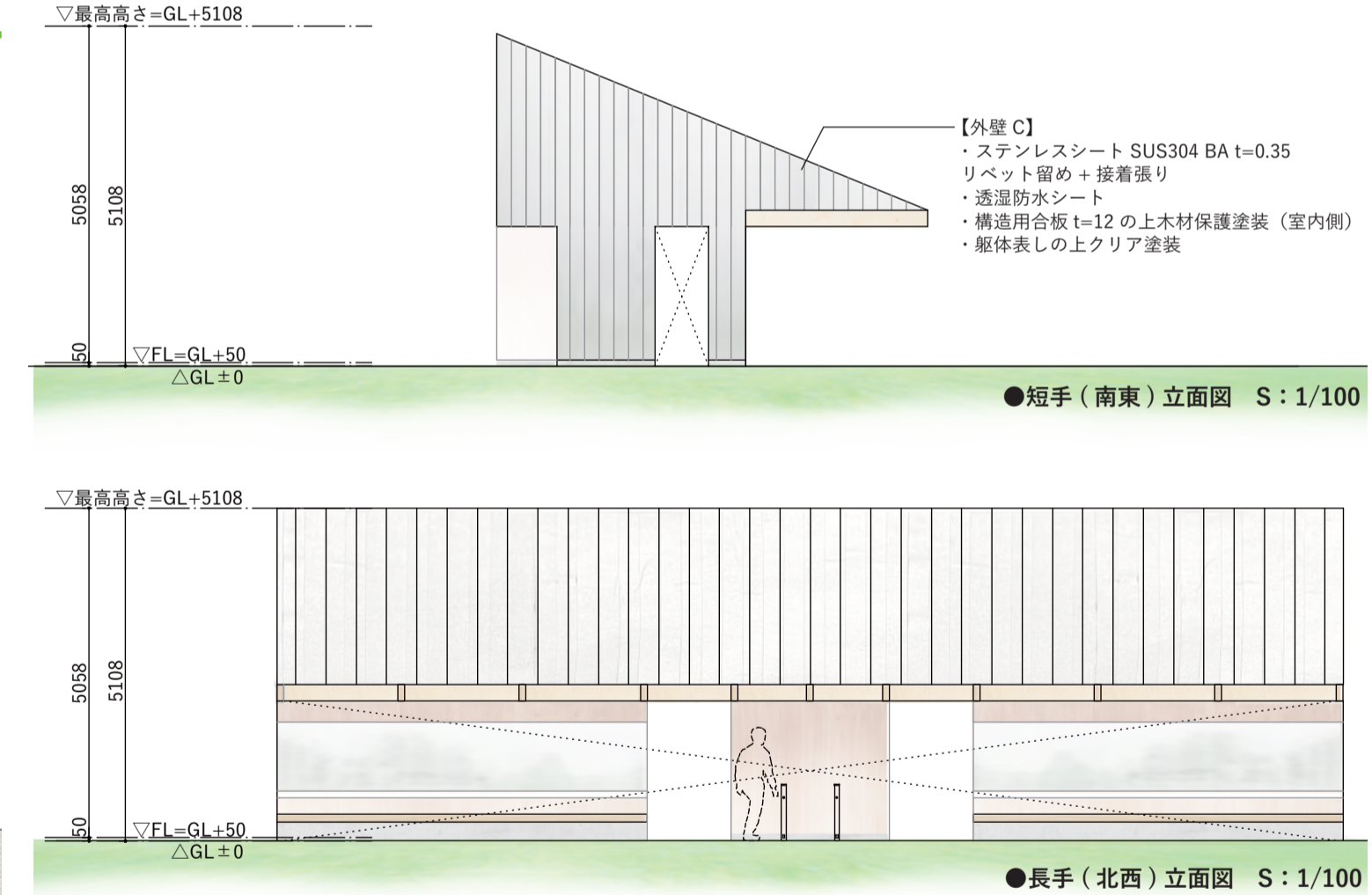
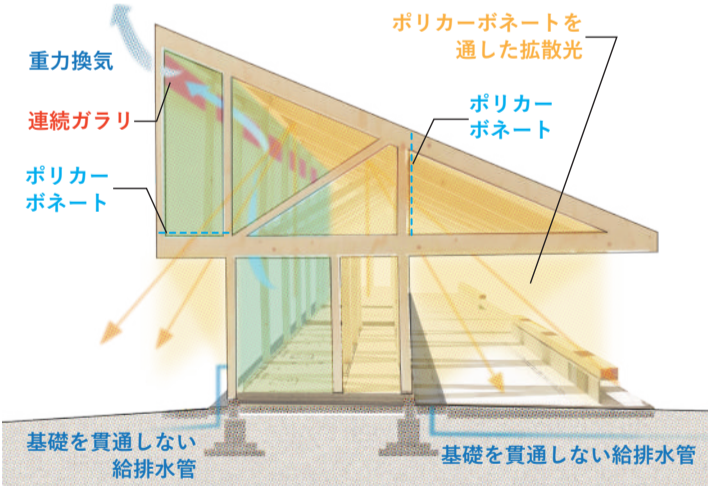
## ●設備計画

### ウ. 施設管理者の清掃・点検・維持保全等の管理全般への配慮

各給排水設備の給排水管は建築物の基礎や外構のコンクリートを通せず、外壁貫通後は直接地中へ埋設する配管ルートになるよう計画しています。更新、破損時に大掛かりな作業を必要としない、維持管理がしやすい配管計画です。

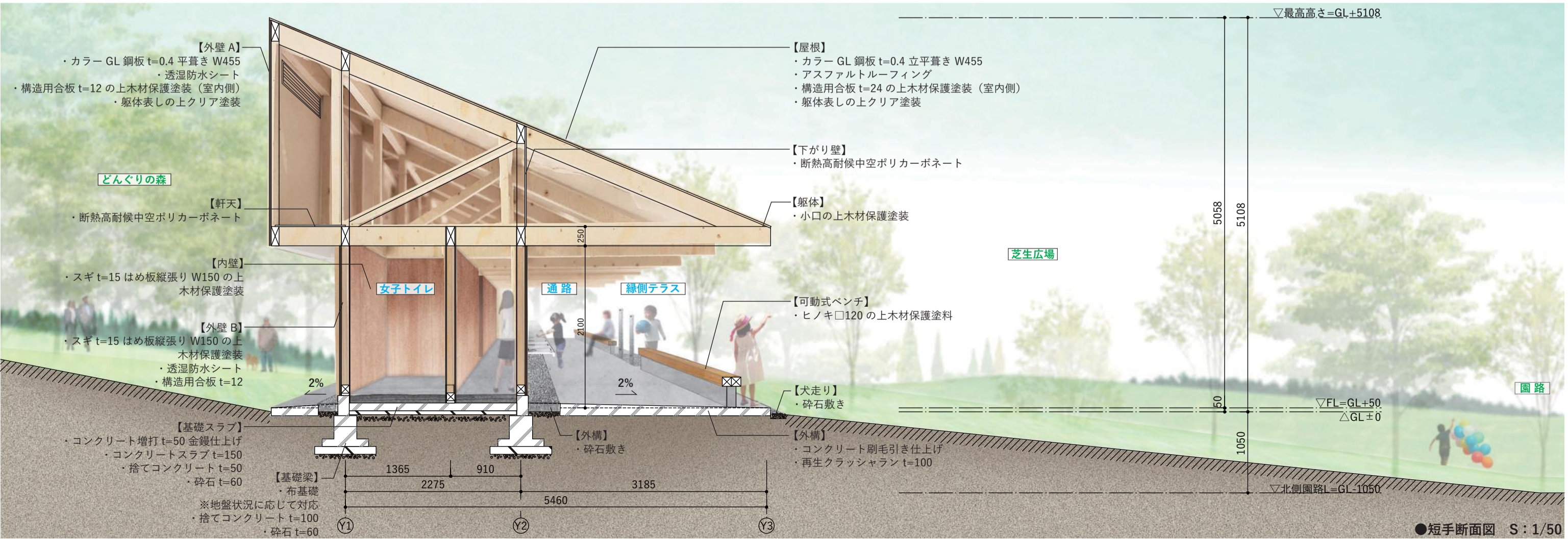
### 2: 合理的な換気を促す空間形状

トイレ上部に高く大きな気積を持たせることで、煙突効果による自然換気方式を取り入れます。排気口は屋根面ではなく、南東側外壁に連続した排気ガスを設置します。屋根面からの漏水を防ぐと同時に外部から維持管理がしやすくなります。



短手(南東)立面図 S: 1/100

長手(北西)立面図 S: 1/100



短手断面図 S: 1/50